

2027/3期 2Q 決算補足説明資料

2026年10月21日
株式会社オービーシステム

東証スタンダード市場:5576

国内経済及び業界動向

- 中東情勢の緊迫化に伴う物価上昇など国内経済の下押しリスクはあったものの、雇用環境の改善やAI・半導体関連の需要拡大が下支え、景気は緩やかな回復基調
- 情報サービス業界はDX投資が継続、特に生成AIを活用した開発が進展し、需要は底堅い反面、IT関連人材の確保・育成の課題・コスト増加もあり先行きを注視

当社の特徴と2Q業績

- 上期は一部において車載系案件の縮小、医療分野における案件の延期など事業環境の厳しさがあり、また社会インフラ分野において受注時期の遅れなど厳しい状況が続いたものの、引続き拡大するAI・DX需要を各事業分野において堅調に受注し、連結範囲の拡大も合わせて売上高は前年同期比で20%増加と大幅に伸長
- 積極的な採用に伴う人件費、AIエージェント活用に向けた研究開発費の増加、M&Aによるのれん償却額の増加など販管費が22%増加したものの、受注拡大と売上総利益率の改善などでカバーし、営業利益・経常利益とも40%を超える増益となった。また政策保有株式縮減方針に基づく投資有価証券売却益も寄与し中間純利益も前年同期比36%伸長
- クライアントや取引先SIerの予算執行のタイミングや開発システム工期との兼合いから、例年上期よりも下期に業績が集中する傾向があり、連結中期経営計画最終年度の売上高100億円目標に向けて邁進

中期経営計画最終年度へ向け施策を積極的に推進

- 金融事業領域のITインフラ構築案件の増加に対応し、4月から「ITイノベーション事業」を「金融事業」に統合
- 人員増強(新卒採用を拡大)を継続するとともにDX人材の教育・研修に注力
- AX推進室を軸とした取引先とのAI共創、大阪大学との協創を継続
- 昨年子会社化したグリーンキャット社は今期から業績がフルに寄与

- 連結拡大に加え各事業部門において順調に受注を拡大し、前年同期に比べて業績は大幅に伸長
- 人件費、研究開発投資の増加やのれん償却などで販管費は引続き増加傾向
- 例年売上は下期に傾斜しており、販管費も上期(特に1Q)に集中することから、下期で目標達成を目指す

(百万円)	2026/3期		2027/3期				
	2Q累計	通期	2Q累計実績	前年同期差	前年同期比	通期見通し	進捗率
売上高	3,899	8,655	4,686	+786	+20.2%	10,000	46.9%
売上総利益	711	1,675	919	+208	+29.3%	1,950	47.2%
粗利益率	18.2%	19.4%	19.6%	+1.4pp	—	19.5%	—
販管費	497	1,003	608	+110	+22.3%	1,115	54.6%
営業利益	213	672	311	+97	+45.8%	835	37.3%
営業利益率	5.5%	7.8%	6.6%	+1.2pp	—	8.4%	—
経常利益	231	727	332	+100	+43.6%	900	36.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	214	599	291	+77	+36.2%	720	40.5%
EPS	92.7円	258.8円	125.3円	+32.6円	+35.1%	309.2円	40.5%

※今期は期初からグリーンキャット社業績を反映(26/3期は2Qより反映、通期で8か月分)

- 順調に受注を拡大し、四半期ごとに伸長
- 販管費は引続き増加傾向だが、1Qに比べ平常状態に移行
- 2Qの前年同期比、前四半期(今期1Q)比とも業績は順調に伸長

(百万円)	2026/3期				2027/3期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	前年2Q比	前四半期比 (1Q比)
売上高	1,753	2,146	2,261	2,494	2,258	2,428	+13.1%	+7.5%
売上総利益	318	392	454	510	445	474	+20.9%	+6.6%
粗利益率	18.2%	18.3%	20.1%	20.5%	19.7%	19.5%	－	－
販管費	279	218	251	254	345	262	+20.4%	△23.9%
営業利益	39	174	202	256	99	211	+21.4%	+112.7%
営業利益率	2.2%	8.1%	8.9%	10.3%	4.4%	8.7%	－	－
経常利益	51	179	231	264	113	218	+21.6%	+93.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	66	148	168	217	109	182	+23.3%	+67.5%

※グリーンキャット社は26/3期2Qから連結、27/3期は期初から反映

- 純資産は3億円増加し自己資本比率は7割超を維持
- 手元資金も潤沢で高い流動性を確保

(百万円)	2025/3	2026/3	2026/9	前期末比増減
流動資産	3,937	3,834	3,720	△113
現預金	2,638	2,291	2,264	△27
売掛債権	1,214	1,426	1,350	△75
仕掛品	16	24	23	△0
固定資産	2,534	3,785	4,208	+422
のれん	188	615	572	△43
顧客関連資産	143	411	396	△15
投資有価証券	2,011	2,505	2,996	+490
総資産	6,471	7,620	7,928	+308
負債	1,357	1,921	1,918	△3
買入債務	268	310	310	△0
純資産	5,113	5,698	6,010	+311
負債及び純資産	6,471	7,620	7,928	+308
自己資本比率	79.0%	74.8%	75.8%	+1.0pp

- 営業CFは順調に利益を計上し増加
- 増配を継続できるキャッシュフローは十分

(百万円)	2025/3期	2026/3期	2026/9
営業CF	461	329	354
税前当期利益	695	845	430
減価償却費	34	45	25
債権債務増減	△91	△98	74
法人税等支払額	△32	△332	△101
投資CF	△444	146	△200
固定資産取得	△30	△15	△4
子会社株式取得	△407	△247	—
定期預金預入・払戻	100	598	△1
投資有価証券取得・処分	△101	△168	△193
FCF	17	475	153
財務CF	△184	△271	△181
配当金支払額	△184	△208	△127
現金同等物増減額	△167	203	△28
現金同等物残高	2,038	2,242	2,213

- 中期経営計画の最終年度であり、連結売上高100億円達成を目指す
- 堅調なシステム開発需要への対応、中期経営計画施策の着実な実行により、売上高前期比15%増収計画
- 先行投資としての新卒採用人員を一昨年から継続して大幅増員、教育・研修も充実させ体制を拡大し開発力を強化
- 大幅な増収効果により、営業利益・経常利益は前期比24%増益の見通し

(百万円)	2026/3期 (実績)		2027/3期 (業績見通し)	増加額	増加率
売上高	8,655		10,000	+1,344	+15.5%
営業利益	672		835	+162	+24.2%
経常利益	727		900	+172	+23.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	599		720	+120	+20.1%
EPS(円)	258.8		309.2	+50.4	+19.5%

- 現状においては配当金での株主還元を柱とし、40%以上の配当性向と継続的な増配を計画
- 2026年3月期は年間100円の当初計画を105円に増額。上場以降3期連続増配し、配当性向40%を実現
 - 2027年3月期は当期利益20%増益の計画を踏まえ、20円増配を予定
(中間配当60円、期末配当65円の計画を維持)

	2024/3期	2025/3期	2026/3期	2027/3期(予想)		
				年間	中間	期末
一株当たり配当額	70円 (30円)	80円 (40円)	105円 (50円)	125円	60円	65円
うち、記念配	10円 (5円)	—	—	—	—	—
EPS	193.0円	210.6円	258.8円	309.2円	—	—
配当性向	36.3%	38.0%	40.6%	40.4%	—	—

※2024/3期～2026/3期の配当金額下段括弧は中間配当金額を内書き

- ・2027/3期 連結売上100億円を目指し中期経営計画を推進中
- ・急速なAIシフトに対応するための組織体制整備・追加アクションを推進中



- 一部において受注時期の遅れなど部門ごとの強弱はあったものの、引続き拡大するAI・DX需要を各事業分野において堅調に受注を重ね、前年同期に比べて順調に推移
- 人件費の増加、研究開発投資拡大の影響から、販管費は引続き増加傾向
- 政策投資株式の縮減方針に沿った投資有価証券売却による特別利益を計上、計画的に当期利益を底上げ

(百万円)	2026/3期		2027/3期				
	2Q累計	通期	2Q累計実績	前年同期差	前年同期比	通期見通し	進捗率
売上高	3,563	7,468	3,834	+270	+7.6%	8,200	46.8%
金融	1,334	2,784	1,814	+167	+10.2%	3,795	47.8%
産業流通	1,003	2,164	1,104	+101	+10.1%	2,415	45.7%
社会公共	912	1,848	915	+2	+0.2%	1,990	46.0%
ITイノベーション※	312	671					
売上総利益	640	1,427	719	+78	+12.2%	1,596	45.1%
粗利益率	18.0%	19.1%	18.8%	+0.8%	－	19.5%	－
販管費	430	819	472	+42	+9.8%	860	55.0%
営業利益	210	608	246	+36	+17.2%	736	33.5%
営業利益率	5.9%	8.1%	6.4%	+0.5%	－	9.0%	－
経常利益	228	663	275	+46	+20.2%	806	34.1%
当期純利益	220	578	264	+44	+20.0%	677	39.1%

※2026年4月にITイノベーション事業を金融事業に統合したため、金融事業の前年同期差・比は前期の「金融+ITイノベーション」に対して算出

見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、
将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

お問い合わせ先	株式会社オービーシステム 東京本社IR担当 TEL:03-3471-9877(代表) E-mail:ir@obs.co.jp
---------	--